

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

(財)ベタリービングが優良住宅部品認定制度によって、品質、性能、アフターサービス

などに優れた住宅部品を厳重な審査に基づき認定された住宅部品です。

さらに保証責任保険と賠償責任保険が制度化されていますので、安心してご利用いただけます。

DIGITAL



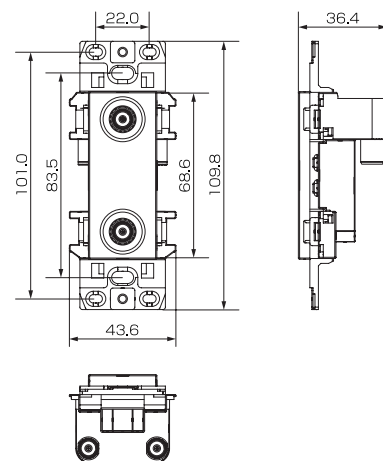
テレビ共同受信機器

CS/BS-IF・UHF・VHF/FM・HF直列ユニット



〈フィルタなし〉

	品 番	(BL型式)
1 端子形・中間用	CS7F7W1H	(CS-7F-7W)
端末用	CS7FRW1H	(CS-7F-RW)
2 端子形・中間用	CS77F7W1H	(CS-77F-7W)
端末用	CS77FRW1H	(CS-77F-RW)
壁面テレビ端子・1 端子形	CS7FW1H	(CS-7FW)
壁面テレビ端子・2 端子形	CS77FW1H	(CS-77FW)



※イラストは代表例です。(単位: mm)

〈フィルタ内蔵切換スイッチ付〉

	品 番	(BL型式)
1 端子形・中間用	CS7F7SW1H	(CS-7F-7SW)
端末用	CS7FRSW1H	(CS-7F-RSW)
2 端子形・中間用	CS77F7SW1H	(CS-77F-7SW)
端末用	CS77FRSW1H	(CS-77F-RSW)
壁面テレビ端子・1 端子形	CS7FSW31H	(CS-7FSW(3))
壁面テレビ端子・2 端子形	CS77FSW1H	(CS-77FSW)

※品番末尾の“H”は包装形態を表わしています。製品本体の表示は“H”なしの品番です。

製品の特長

- ・フィルタ切換スイッチをパス側にすると、CATVインターネットなど双方向CATVに対応します。〈フィルタ内蔵切換スイッチ付機種〉
- ・CATV上り帯域からCS-IF帯域まで(10~2602MHz)広帯域にわたりフラットな周波数特性です。
- ・電磁妨害(EMI)排除能力は、90dB(標準値)を確保しています。(フィルタ内蔵切換スイッチ付機種は75dB(標準値)です。)
- ・亜鉛ダイカスト製ケースで耐久性にすぐれています。
- ・ユニット上下の取付サポートが脱着可能で市販の取付枠と組み合わせて使用できます。また、壁面からの高さ調整が可能ですので、標準/ワイド形の2種類の化粧プレートに対応できます。(出荷時は標準形に合わせています。)
- ・TV端子カバーの交換用オプションとして、テレビ端子プレートを4色取り揃えています。
- ・入力端子側に触ってわかる突起を設けるとともにF座中央部を黄色に表示して、出力端子と間違えないように区別しています。

お取り扱い上の注意

- ・テレビ受信関連工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。
- ・取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえで行なってください。
- ・この製品は屋内取付専用です。屋外に設置する場合は、必ず防水・防雨処理を施した収容箱などに収容してください。
- ・この製品は電流通過型ではありません。この製品に電流通過させないでください。回路やケーブルがショートして、火災や感電の原因となります。
- ・CS/BS-IF(1000~2602MHz)とUHF帯・VHF帯ではケーブル、ユニットの損失がそれぞれ異なりますので、混合電波の場合は、幹線の入力信号レベルに注意してください。
- ・雷が鳴り出したら、この製品には触れないでください。感電の原因となります。

メンテナンス

いつまでも美しいテレビ映像をお楽しみいただくために、1年に1回は専門業者に保守点検を依頼してください。

〈フィルタなし〉

		品 番 (BL型式)	周波数帯域 (MHz)	挿入損失 (dB以下)	結合損失 (dB以下)	逆結合損失 (dB以上)	端子間結合損失 (dB以上)	電圧定在波比 (以下)
1 端 子 形	中 間 用	CS7F7W1 (CS-7F-7W)	10~76	1.8	12	15	—	2.5
			76~300	1.3	11	23	—	1.6
			300~770	1.8	12	20	—	1.6
			1000~1336	2.0	13	18	—	1.8
			1336~2150	3.4	15	15	—	2.0
			2150~2602	4.0	15	15	—	2.0
	端 末 用	CS7FRW1 (CS-7F-RW)	10~76	—	9	—	—	2.5
			76~300	—	8.5	—	—	1.6
			300~770	—	9	—	—	1.6
			1000~1336	—	10	—	—	1.8
			1336~2150	—	11	—	—	2.0
			2150~2602	—	11	—	—	2.0
2 端 子 形	中 間 用	CS77F7W1 (CS-77F-7W)	10~76	2.0	16	15	13	2.5
			76~300	1.5	15	25	20	1.6
			300~770	2.0	16	20	18	1.6
			1000~1336	2.2	17.5	18	15	1.8
			1336~2150	3.4	18.5	15	15	2.0
			2150~2602	4.0	18.5	15	15	2.0
	端 末 用	CS77FRW1 (CS-77F-RW)	10~76	—	13	—	13	2.5
			76~300	—	12	—	20	1.6
			300~770	—	13	—	18	1.6
			1000~1336	—	14.5	—	15	1.8
			1336~2150	—	15	—	15	2.0
			2150~2602	—	15	—	15	2.0
壁 面 テ レ ビ 端 子	1 端子形	CS7FW1 (CS-7FW)	10~76	0.8	—	—	—	2.5
			76~300	0.4	—	—	—	1.6
			300~770	0.6	—	—	—	1.6
			1000~1336	0.8	—	—	—	1.8
			1336~2150	1.5	—	—	—	2.0
			2150~2602	2.0	—	—	—	2.0
	2 端子形	CS77FW1 (CS-77FW)	10~76	5.0	—	—	13	2.5
			76~300	4.0	—	—	20	1.6
			300~770	4.5	—	—	18	1.6
			1000~1336	5.0	—	—	15	1.8
			1336~2150	6.0	—	—	15	2.0
			2150~2602	7.0	—	—	15	2.0

〈フィルタ内蔵
切替スイッチ付〉

		品 番 (BL型式)	周波数帯域 (MHz)	挿入損失 (dB以下)		結合損失 (dB以下)		逆結合損失 (dB以上)		端子間結合損失 (dB以上)		電圧定在波比(以下)	
				双方向	片方向	双方向	片方向	双方向	片方向			双方向	片方向
1 端 子 形	中 間 用	CS7F7SW1 (CS-7F-7SW)	10~55	1.8	1.8	12	40以上	15	15	—	—	2.0	2.0
			70~300	1.8	1.8	12	14	25	25	—	—	2.0	2.0
			300~770	2.5	2.5	12	13	20	20	—	—	2.0	2.0
			1000~1336	3.0	3.0	13	14	18	18	—	—	2.0	2.0
			1336~2150	3.5	3.5	15	16	15	15	—	—	2.5	2.5
			2150~2602	4.0	4.0	16	17	15	15	—	—	2.5	2.5
	端 末 用	CS7FRSW1 (CS-7F-RSW)	10~55	—	—	9	40以上	—	—	—	—	2.0	2.0
			70~300	—	—	9	11	—	—	—	—	2.0	2.0
			300~770	—	—	9	10	—	—	—	—	2.0	2.0
			1000~1336	—	—	10	11	—	—	—	—	2.0	2.0
			1336~2150	—	—	11	12	—	—	—	—	2.5	2.5
			2150~2602	—	—	12	13	—	—	—	—	2.5	2.5
2 端 子 形	中 間 用	CS77F7SW1 (CS-77F-7SW)	10~55	1.8	1.8	15	40以上	15	15	13	13	2.0	2.0
			70~300	1.8	1.8	15	17	25	25	20	20	2.0	2.0
			300~770	2.0	2.0	16	17	20	20	18	18	2.0	2.0
			1000~1336	2.5	2.5	18	19	18	18	15	15	2.0	2.0
			1336~2150	3.5	3.5	19	20	15	15	15	15	2.5	2.5
			2150~2602	4.0	4.0	20	21	15	15	15	15	2.5	2.5
	端 末 用	CS77FRSW1 (CS-77F-RSW)	10~55	—	—	13	40以上	—	—	13	13	2.0	2.0
			70~300	—	—	13	15	—	—	20	20	2.0	2.0
			300~770	—	—	13	14	—	—	18	18	2.0	2.0
			1000~1336	—	—	15	16	—	—	15	15	2.0	2.0
			1336~2150	—	—	16	17	—	—	15	15	2.5	2.5
			2150~2602	—	—	17	18	—	—	15	15	2.5	2.5
壁 面 テ レ ビ 端 子	1 端子形	CS7FSW31 (CS-7FSW(3))	10~55	1.0	40以上	—	—	—	—	—	—	2.0	—
			70~300	1.0	3.0	—	—	—	—	—	—	2.0	2.0
			300~770	1.0	2.0	—	—	—	—	—	—	2.0	2.0
			1000~1336	1.5	2.5	—	—	—	—	—	—	2.0	2.0
			1336~2150	2.0	3.0	—	—	—	—	—	—	2.5	2.5
			2150~2602	3.0	4.0	—	—	—	—	—	—	2.5	2.5
	2 端子形	CS77FSW1 (CS-77FSW)	10~55	5.0	40以上	—	—	—	—	13	13	2.0	—
			70~300	5.0	7.0	—	—	—	—	20	20	2.0	2.0
			300~770	6.0	7.0	—	—	—	—	18	18	2.0	2.0
			1000~1336	7.0	8.0	—	—	—	—	15	15	2.0	2.0
			1336~2150	8.0	9.0	—	—	—	—	15	15	2.5	2.5
			2150~2602	9.5	10.0	—	—	—	—	15	15	2.5	2.5

- ・上記の規格は「BL規格」の値です。
- ・「BL規格」の周波数帯域表示は2602MHz以下ですが、当社保証値はそれ以上の2610MHzまで同一の性能です。
- ・規格および外観は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。
補修部品の設定はありません。

施工説明書

ご使用の前にこの施工説明書をよく読み、正しく施工してください。また施工前に製品の外観に異常がないか、付属品が正しく入っているか確認してください。(この製品は、有線テレビジョン放送法等の法規が適用されます。)

- ・当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事にて不具合(瑕疵)が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行なった場合、BLマークの証紙の貼付(又は刻印等)がされている部品については、財団法人ベターリビングのBL保険制度に基づき保険金が支給されます。
- ・BL保険制度や当住宅部品の施工要領の詳細については、財団法人ベターリビングのホームページ(<http://www.cbl.or.jp/>)をご覧ください。なお、BL保険制度に関する質問は、財団法人ベターリビング(Tel 03-5211-0559)でもお受け致します。

設置上のご注意

次のような場所に設置しないでください。

- ・屋外や水などがかかる場所(屋外に設置する場合は、防水・防雨処理を施した収容箱に収容してください。)
- ・電気配線、電気工作物の近くや強電磁場
- ・容易にメンテナンスができない場所

取付ネジ間隔83.5mm、横寸法60mm、深さ寸法44mmのスイッチボックスに取り付け、配線が可能です。

使用部品の選択

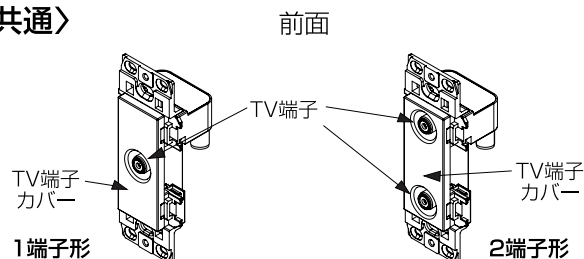
- ・入力・出力端子に接続する同軸ケーブルはS-5C-FB相当以上の性能を有するものを、また、接栓は使用する同軸ケーブルに適したC15形のF形接栓をご使用ください。

付属品

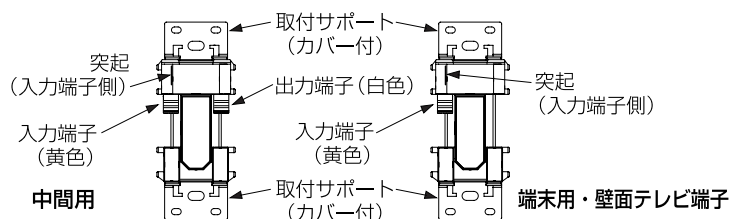
皿ネジ……2本 ご入居カード……1枚

各部の名称・操作方法

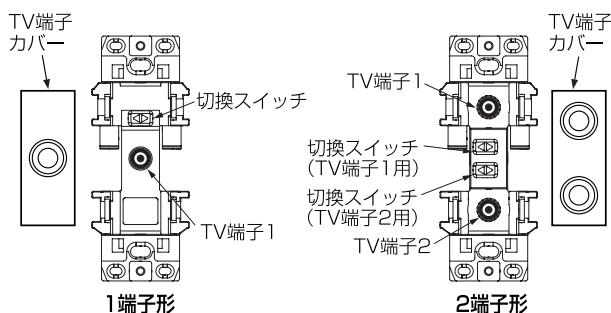
〈共通〉



後面



〈フィルタ内蔵切換スイッチ付〉



※イラストは代表例です。

- ・CS7F7SW1には切換スイッチ2(TV端子2用)とTV端子2がありません。
- ・CS7FRSW1には切換スイッチ2(TV端子2用)とTV端子2、出力端子がありません。
- ・CS7FSW31には切換スイッチ2(TV端子2用)とTV端子2、出力端子がありません。

〈ご入居カードの取付方法〉

ご入居カード(付属品)は、図のようにTV端子保護キャップのフックに引っかけて取り付けてください。

〈切換スイッチの操作〉

TV端子にCATV上り帯域(10~55MHz)で双方向通信、CATVインターネットなどを使用する機器を接続する場合は次のようにスイッチを切り換えてください。

- ①本体前面のTV端子カバーの両側を指でつまみ、手前にまっすぐ引いてはずす。
 - ②切換スイッチを操作する。このとき、数回スイッチを切り換えて接点部の活性化(クリーニング)をしてください。
 - ③TV端子カバーを元に戻す。
- ※出荷時、切換スイッチは上りカット(CUT)側になっています。

通過帯域
PASS側 10~2602MHz
CUT側 70~2602MHz



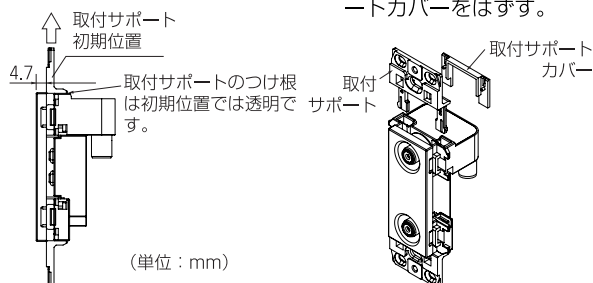
〈TV端子カバーのオプション〉

TV端子カバーの交換用オプションとして4色(ミルキーホワイト、ダークブラウン、グレー、ベージュ)のテレビ端子プレートがあります。製品それぞれの形状に適したテレビ端子プレートを別途お買い求めください。

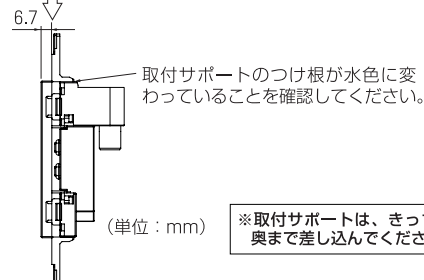
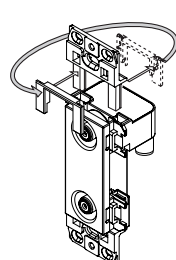
壁面からの高さ調整方法

工場出荷時は標準化粧プレートの高さに合わせていますので、ワイド化粧プレート使用時に壁面からの高さを調整する場合は、次の手順で取付サポートカバーの向きを変更してください。

- ①本体から取付サポートを引抜く。
- ②取付サポート裏面に装着されている取付サポートカバーをはずす。
- ③取付サポートカバーを反転させ、取付サポート前面に装着する。
- ④取付サポートを本体に入れない。
- ⑤下側の取付サポートも同様に变更してください。



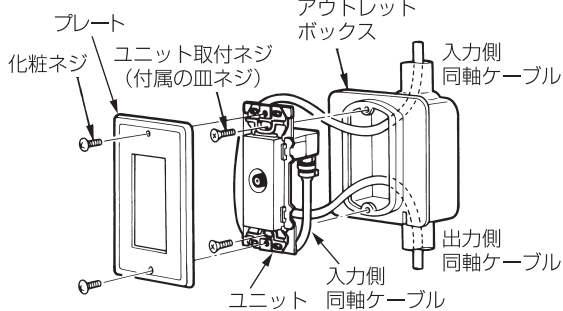
(単位: mm)



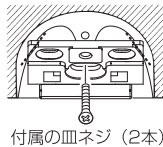
※取付サポートは、きっちりと奥まで差し込んでください。

取付方法

〈アウトレットボックスの場合〉

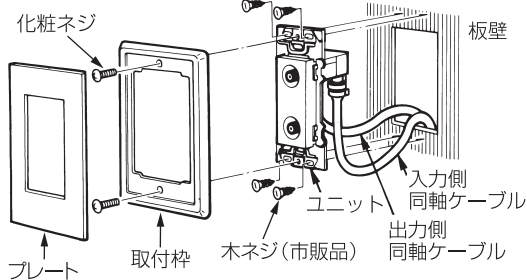


- 図のように入力端子（上部に突起があり、F座中央部が黄色表示）、出力端子の接続を間違えないように取り付けてください。 ※間違えるとテレビ端子から信号が得られません。（この説明は1端子形・中間用で代表していますが、ほかの機種についても同様です。）



- 取付サポートのだ円穴を利用して付属の皿ネジで上下2か所をしっかりと取り付けてください。
- 左右の耳部は工事の都合で邪魔になる場合、点線位置より切り取ってください。

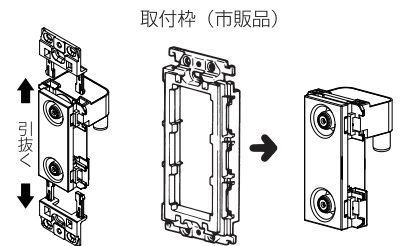
〈板壁の場合〉



- ワイド形化粧プレートに取り付ける場合はワイド対応の取付枠を使用してください。

- 左図のように入力端子（上部に突起があり、F座中央部が黄色表示）、出力端子の接続を間違えないように取り付けてください。 ※間違えるとテレビ端子から信号が得られません。（この説明は2端子形・中間用で代表していますが、ほかの機種についても同様です。）
- ユニット両端の耳部だ円穴を利用して木ネジ、または釘で左右・上下4か所をしっかりと取り付けてください。

- 取付サポートを本体から取りはずすことにより、市販の汎用取り付け枠と組み合わせ使用することができます。



〈接栓（別売り）への同軸ケーブルの接続時のご注意〉

- 接栓は使用する同軸ケーブルに適したものをご使用ください。
- 使用する接栓により同軸ケーブルの加工寸法は異なりますので、接栓の取扱説明書をご参照ください。
- 同軸ケーブルの先端処理をする場合、心線、編組線に傷をつけたり、心線と編組線は絶対に接触しないようご注意ください。
- 接栓は、接続ナットを2N・mで締め付けてください。（2N・mを越えるトルクでは、締め付けしないでください。）

⚠ 注意

ペンチ・ニッパー等を使用の際には十分ご注意ください。
また、心線が指等に突き刺さらないようご注意ください。

保証について

- この製品の保証期間は、お引き渡しの日から5年間です。保証期間内に取扱説明書記載事項に従った正常な使用状態で故障した場合、ご購入店または表記のDXアンテナ各営業所にお申し付けください。ただし、下記の場合は保証期間内でも有償修理となります。

①日本国以外で使用した場合の不具合。②住宅用途以外で使用した場合の不具合。③ユーザーが適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合。④メーカーが定める施工説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合。⑤建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。⑥海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。⑦なすみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。⑧火災・爆発事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異または戦争・暴動等破壊行為による不具合。⑨消耗部品の消耗に起因する不具合。⑩電気の供給トラブル等に起因する不具合。⑪瑕疵に起因して住宅部品その他の財物の使用ができなくなったことによって生じた不具合。

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)	・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)	・三重出張所 TEL.(059)226-1643(代)	・山陰出張所 TEL.(0853)24-2343(代)
・旭川出張所 TEL.(0166)37-5830(代)	・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)	・金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)	・高松営業所 TEL.(087)868-1222(代)
・東北支店 TEL.(022)243-2141(代)	・茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代)	・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)	・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
・盛岡出張所 TEL.(019)636-1581(代)	・千葉支店 TEL.(043)253-1121(代)	・大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代)	・福岡支店 TEL.(092)541-0168(代)
・郡山出張所 TEL.(024)921-7131(代)	・木更津出張所 TEL.(0438)23-6281(代)	・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)	・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)
・東京支店 TEL.(03)3526-5402(代)	・静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代)	・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)	・長崎出張所 TEL.(095)842-0780(代)
・東京東出張所 TEL.(03)5654-9881(代)	・浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代)	・神戸支店 TEL.(078)579-8550(代)	・大分営業所 TEL.(097)504-7799(代)
・多摩営業所 TEL.(042)572-4911(代)	・中部支店 TEL.(052)919-6531(代)	・姫路出張所 TEL.(079)283-5920(代)	・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)
・横浜支店 TEL.(045)651-2557(代)	・松本営業所 TEL.(0263)27-7801(代)	・広島支店 TEL.(082)237-5331(代)	・南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代)
・埼玉支店 TEL.(048)652-3311(代)	・豊橋営業所 TEL.(0532)69-2370(代)	・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)	・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)

DXアンテナ株式会社

(2009年7月現在)

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代) 東京支社/〒101-0021 東京都千代田区外神田4丁目1番5号 船井ビル TEL.(03)3526-6327(代)
カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30~12:00/13:00~17:00(土曜・日曜・祝日および夏季・年末年始休暇は除く)
ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>